

# 高退協ニュース

No. 214  
2018年  
9月4日  
発行 協局  
高知退協  
事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10  
高知城ホール高教組交付  
連絡先 Tel.088-822-6822  
郵便振替口座〇二六五〇二二二一八九三

## 第64回日本母親大会 in 高知 盛大に開催

8月25日、26日



4300人が参加した開会式（高知県民体育館）

第64回母親大会 in 高知に  
参加して  
上村 文香  
八月二十五日(土)、二十  
六日(日)に母親大会が開催  
されました。64年の母親大会

の歴史のなかで、初の高知大会でした。心配された台風20号も土佐のはちきんパークに圧倒されたのか、足早に駆け抜けていきまされた。全体会は晴天に恵まれ、全国津々浦々から4300人という、目標を上回る参加者がありました。会場の県民体育館は、中に入る前から女性たちの熱気がムンムンで、暑い中、さらに暑くなり、物産展、母親売店、書籍パザールがあり、みなさん受け付けを済ませ、早速お目当ての物を見てまわっていました。館内は、中国の要求カード二万枚を様々にレイアウトした垂れ幕が飾られ、舞台には親子の鯨が泳ぎ土佐らしさを溢れていま

オーブニングは清流太鼓で、迫力満点の太鼓の響きに聞きほれました。引き続き、日本母親大会代表委員の畑山さん、力強い開会宣言、主催者挨拶、徳平現地実行委員長の歓迎の挨拶がありました。また、昨年引き続き尾崎高知県知事、岡崎高知市長の開催自治体首長の挨拶があり、知事の時には会場からどよめきが起こっていました。

記念公演は、「憲法とともにあゆみつづける子ども未来・くらし・平和」と題して、一橋名誉教授の渡辺治さんが憲法が生まれてから今日までの71年間を四つ時代の分けて話してくれました。先生は、大変若々しくよく通る声で、安倍政権による九条改悪をさせないためには、市民と野党の共同を強固にし、3000万署名を頑張るってやることであると話され、勇気をもらいました。

文化行事では、「スカダンスタジオリ」による正調よさこい鳴子踊り、創作の和洋折

## 高知地裁判決で不当判決を受けて

引き続き支援のお願い 橋元 陽一



不当判決を知らず橋元陽一さん  
被控訴人 橋元陽一さん

ビキニ二核被災国家賠償訴訟判決  
を隠したとまでは認定できず、また、連続的不法行為とまで過し、20年の除斥期間を過ぎ、請求を棄却する不当判決で

の救済の必要性については改めて検討されるべきとも考えられる。「広島と長崎の原爆被害者賠償法」によって法的救済を図ることは困難であり、立法府及び行政府の一層の検討に期待するほかない」と指摘し、政府に被災漁船員の救済の道を探ることができたとの希望を述べた。判決内容を今後の運動の基軸に位置づけて、生かしていきま



判決後の報告集会で語る山下正寿さん

たことに対する事実誤認について、法的解釈の誤りについて証拠(証拠)と法則(証拠)として価値、評価の判断権)

① 控訴審への支援  
争点を明確にして高松高裁に控訴し、新たな資料、証言が広がるようなネットワークづくり、傍聴参加、資金づくりなどの全国支援の見通しを立てる。

② 核実験による被災船員救済の特別立法を  
被災船員を救済する新法(仮称)制定に向けて、弁護士・研究者と協議の場を設置し、超党派の国會議員立法提案の全国支援を取り組み、核兵器禁止条約6条の核実験のヒバクシャ救済の道を世界に先駆けて具体

化する活動として国際的連帯の中で進める。

② 高校生とつくる「核兵器禁止条約教材を世界のことどもたちに」プロジェクトを広げ、国連などに核実験被災者人権問題として学ぶ機会づくりを呼びかける。

③ 当面、高知で開かれる「全国母親大会」(8月25、26日)など関連する会に呼び掛けてゆく。

③ 船員保険の実現と救済にむけて  
① 8月20日に「ビキニ二核被災検証会」と東京の弁護士メソバトとの打ち合わせ会で、今後の方向を協議し、高知の申請者訪問調査などを準備する。今後、労災申請を希望する人の追加の時期が来たら全国的に貨物船などの被災船員を含め申請を呼びかける。

② 引き続き、健康対策部の協力を得て、元乗組員の死亡原因調査、高知県内元被災船員への健康相談会の開催や保健士の「ビキニ二事件学習会」を開催する。

③ 当面、健康を害し、外出困難な被災船員の訪問診断の準備を進める。被災船員・遺族の生活支援をふくめ、県で条例など救済可能な方法の検討を呼びかける。

高退協の皆さまの引き続きのご支援をお願いします。